



編集発行：静岡県青少年育成会議

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL：054-221-3305  
事務局（静岡県教育委員会社会教育課内）FAX：054-221-3362  
e-mail：kyoui\_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp

## CONTENTS

- 平成27年度子ども・若者育成支援強調月間キャンペーン ..... 1
- 静岡県青少年育成会議会員の活動紹介 ..... 2
- わたしの主張2015静岡県大会最優秀賞（少年の主張全国大会努力賞）受賞作文の紹介・・ 3
- 地域の青少年声掛けアンバサダー藤田弓子さん講演会報告、中央研修大会（内閣府主催）参加報告・・ 4

## 社会全体で子供・若者を支えるために、 「私たちにできること」を考えてみませんか？

**11月の「静岡県子ども・若者育成支援強調月間」**キャンペーンの一環として、11月15日（日）「静岡県子ども体験フェスティバルin清水マリナーパーク」に静岡県青少年育成会議のブースを出展しました。

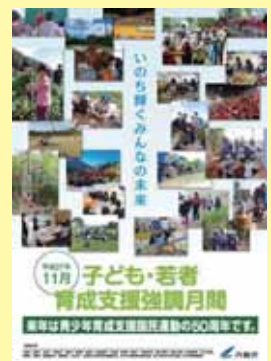


子供・若者たちを支えるために『私たち大人にできること』を考えるきっかけにしてもらおうと、多くの参加者の方々に声を掛けさせていただき、リーフレットや啓発グッズを配布しました。

当日は、心配されていた雨も止み、多くの家族連れでにぎわいました。それぞれの団体のブースでは、活動の特長を生かした様々な体験プログラムが用意され、子供から大人まで、参加者全員が楽しんでいる姿が印象的でした。

静岡県青少年育成会議ブースでは、約100人の方々に風車づくり、ふじっぴー折り紙、優良推奨図書を楽しんでもらいました。また、フェスティバルに参加している団体や来場者の皆様等、500人を越える方々に「子ども・若者育成支援強調月間」や「地域の青少年声掛け運動」を紹介し、共感していただくことができました。

キャンペーン活動を通して、目をキラキラ輝かせながら活動する子供たちの姿や子供を見守る家族の笑顔を見ることができ、社会全体で子供たちを支えていくことの大切さを改めて感じました。



## 会員の皆様の活動を紹介します。

### 特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

URL : <http://www.chabashira.co.jp/~evolnt/>  
住所 : 静岡市葵区駿府町1-70総合社会福祉会館内  
電話 : 054-255-7357

市民自らが主体となり取り組むボランティア活動・市民活動は、社会の様々な問題や課題に対して、年々ますます多様化し広がりを見せています。静岡県ボランティア協会は、そんな自由で柔軟な、無限大の可能性を秘めたボランティア活動を推進するため、1977年4月10日に誕生しました。

本協会では、ボランティア体験を通して、青少年が生きることや福祉について学びを深める「サマーショートボランティア活動計画」や「海外でのボランティア活動に学ぶ高校生スタディツアーINアジア」などの事業のほか、今日的なテーマを取り上げた「ケアする人のケアを学ぶ会」、ボランティア同士の情報交換やネットワークづくりを推進する「静岡県ボランティア研究集会」、災害ボランティアと関係者が災害時の「支援」について考える「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」などを展開しています。

本協会主催の「ファシリテーション講座」  
ワークショップの様子



「第34回サマーショートボランティア活動計画」  
保育園での活動の様子

また、2011年3月11日に起きた東日本大震災に対して、発災直後から支援を続け、今も「仮設住宅応援ボランティア」や「癒しと潤いの持てる郷をつくろうー花桃の植栽ー」「クリスマスサンタ隊派遣」など被災地への支援活動を行っています。

近年、私たちが暮らす社会は人間関係が希薄になっていると言われています。住む場所が同じだけの人間関係を「つながりを感じられる人間関係」にしていくために、人と人との活動をつないでいくことが中間支援機関には求められていると感じています。

### 特定非営利活動法人 湖西なろっぶスクール

住所 : 静岡県湖西市鷺津3480  
電話 : 053-576-6148 URL : <http://nalop.jp/>

湖西なろっぶスクールは、毎月の地域交流活動として、自然生活体験活動や学生ボランティアリーダー養成研修会等を行い、21世紀を力強く創造し、心豊かに生き抜く青少年の育成を目指し、社会に貢献する事を目的に活動しているNPO法人です。

なろっぶでは、「遊びから学ぶ」をモットーに全ての活動に『あせかくこ』（あ）いさつをしよう、（せ）いりせいとんをしよう、（か）んしゃして好き嫌いなく食べよう、（く）つをきちんとそろえよう、（こ）とばづかいを丁寧に）という目標を掲げ、【素直な心、思いやりの心、感謝の心】を大切に生きる心を伝える活動をしています。

平成27年10月には、静岡県県民運動推進事業費補助金を頂き、世界遺産、富士山の自然に触れるイベントを開催しました。富岳風穴の見学、青木ヶ原遊歩道の散策、パラグライダー体験等、富士山の麓の自然を満喫し、感動したり、喜んだりしている子供達の姿を直に見て感じる事ができ、この様な様々な活動を通して、私達は子供達と共に喜び、共に成長できる活動を今後も継続したいという思いを強くしました。そして、多くのことを感じ、学び、時にはつらく涙するような体験を通して、人や物に対するあたたかい心づかいのできる青少年の育成を目指していきたいと思っています。



最後に・・・『なろっぶ』とは、自然（Na）ture 愛（Lo）ve 平和（Pe）ace の頭文字からとった造語です。この名前がそのまま活動のテーマであり、平和を願う私達の願いです。



## 「顔を上げて」

静岡大学教育学部附属静岡中学校 3年 安藤 綺更

電車で通学していて気づいたことがある。席に座るとき、隣の人との間を少し空けて座っている人が多いことだ。自分の空間を守りたいのだろうか。「そのすき間をつめれば、もう一人位座れるのにな。」  
そう思いながら、私は毎朝、吊革につかまって立っている。

「つめてもらってもいいですか。」

そう言ってみようかと考えたことが何度もあるが、結局今まで言えなかった。席をつめると、確かに隣の人と距離が近くなってしまう。席をつめることを相手に迷惑だと思われるらいやだからだ。それに、若いんだから立っていればいいじゃないか、と思われるかもしれない。私は、自分の素朴な思いと世間体とをまよまよさせながら、二年間電車に乗ってきた。

ある駅に停車したとき、その四十歳位の女性は電車に乗ってきた。松葉杖をついていた。女性は車内を見回し、席を探しているように見えた。しかし、あいにく空いている席はなく、ドア横の手すりにつかまった。

この様子に気づいた人は私以外にもいるはずだが、誰も席を譲ろうとする様子は見られなかった。スマートフォンを操作していたり、読書をしていたり、下を向いていたり、スーパーの荷物をひざの上に載せていたり……。夕方この時間、他人に気を配れる余裕をもっている人は見当たらなかった。私も、学校帰りで疲れているし、正直、少し寝たいと思っていた。「席を譲ろうかな。でも、ドアの横に立ったということは、すぐに降りるのかもしれない。でも、車内を見渡しているように見えたり、座りたいのかもしれない。でも、譲って遠慮されたら気まずいし……。」心の中で葛藤した。疲れていたからかもしれない、なかなか結論が出なかった。でも、思い切って席を譲ろうと立ちあがり、声をかけた。

「どうぞ座ってください。」

「ありがとう。よかったらあなたも座って。」

驚いた。電車で席を譲ったことは初めてではないが、その席をつめて私にも席を勧めてくれた人は初めてだった。そして、その気遣いを素直に嬉しいと思った。もよもよとした気持ちで電車に乗っていた今までの私の気持ちに、光が射した。

席を譲らなかった人の中には、もしかしたら、私のように譲ろうかどうしようか迷っていた人がいるかもしれない。松葉杖の女性が座ることができて、心の中でほっとした人がいたかもしれない。全く興味がなかった人、体調が悪くて譲れなかった人、やっと座れたばかりの人……。それぞれの事情があったのかもしれない。しかし、少なくとも私は彼女を見て「何かをしなくては」と思い、行動をした。それは正しい行動だったと思う。そして彼女も、私のために席をつめてくれた。お互いの“ちょっと”した気持ちがお互いを温かい気持ちにさせた。「公共の場」とは「互いを気遣い、互いに気持ちよく過ごせる場」なのではないだろうか。

私は、実は少し臆病で、誰かに嫌がられたり嫌われたりすることがとても怖い。だからなのか、自分の心に素直に行動できるときと、できないときがある。でもこれからは、自分の心を信じて積極的に行動し、地域社会と関わっていこうと思う。まずは、毎日の電車通学。うつおいて座り続けるのではなく、顔を上げて「公共の場」を利用する一人として、人を気遣う意識をもって行動をしたい。そして、誰もが気持ちよく過ごせる公共の場を作る一員でありたい。静岡の未来は、私達の小さな意識でもっと輝くはずだ。



## 「地域の青少年声掛け運動」アンバサダー 藤田弓子さん講演会 報告

本年度、藤田弓子さんの基調講演を牧之原市、三島市、小山町の3市町で開催しました。



表現豊かにお話される藤田弓子さん

講演では「あいさつとともに、日常生活の中で3つのときめく言葉…『感謝の言葉』『褒め言葉』『愛の言葉』を加えることで、心豊かな人生を送りましょう！」と応援の言葉をいただきました。どの会場も多くの方々が参加してくださり、声を掛けることの大切さを再認識するとともに、参加者の皆様から本運動への御理解と御賛同をいただくことができました。

藤田弓子さんには、今後も、県内各地に「声掛けの輪」が広がっていくように、広報・啓発活動に御協力いただきます。



講演後、バッジの配布とお見送り

### 内閣府主催 平成27年度

### 「子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業中央研修大会」報告

平成27年11月26日(木)、27日(金) 国立オリンピック記念青少年総合センター

子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業中央研修大会が、2日間にわたって開催され、静岡県青少年育成会議から7人の会員が参加し、研修を深めてきました。

#### 1日目

##### シンポジウム

##### 「家庭・学校・地域が連携した青少年育成」

- ・基調講演者 上野景三 (佐賀大学附属教育実践総合センター長・教授)
- ・パネリスト 岸 裕司 (秋津コミュニティ顧問)
- 鈴木 綾 (NPO法人ビーンズふくしま副理事長)
- 高坂朝人 (NPO法人再非行防止サポートセンター愛知理事長)

子供・若者が心豊かに成長するためには、学校・家庭・地域における人との関わり合い(繋がり)がとても重要であることが、それぞれのパネリストから語られました。「自分と未来は変えられる。でも、一人では変えられない。」



#### 2日目

##### 専門研修会

- ①「コミュニティ・オーガナイズングを通じたリーダーシップ」  
鎌田華乃子 (NPO法人コミュニティ・オーガナイズングジャパン代表)
- ②「青少年育成活動における事故防止～学校事故を参考に～」  
内田 良 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授)
- ③「問題行動を起こす子供との対話の仕方～6ステップで問題行動から学ばせる～」  
藤野京子 (早稲田大学文学学術院教授)
- ④「あなたがそばにいと元気になる～人間関係を何倍もよくなる『聴く力』を極める～」  
高塚人志 (鳥取大学医学部特任教授・帝京大学医療共通教育研究センター客員教授)

静岡県青少年育成会議  
正会員(個人・団体)、賛助会員

## 会員募集

◎正会員 個人会費：年額1,000円 団体会費：年額3,000円

◎賛助会員 年額一口5,000円とし、一口以上

静岡県青少年育成会議の活動は、当会議の趣旨に御賛同いただき、御加入いただいた会員の皆様によって支えられ、運営しています。

会員会費を有効に活用するために、会員団体が主催する青少年健全育成事業に対して最大5万円の補助金を交付する事業をはじめ、講演会や研修会の御案内、広報紙や啓発リーフレットの送付、会員同士の情報提供等も行っています。

【お問い合わせ】静岡県青少年育成会議事務局(静岡県教育委員会社会教育課内) TEL: 054-221-3305